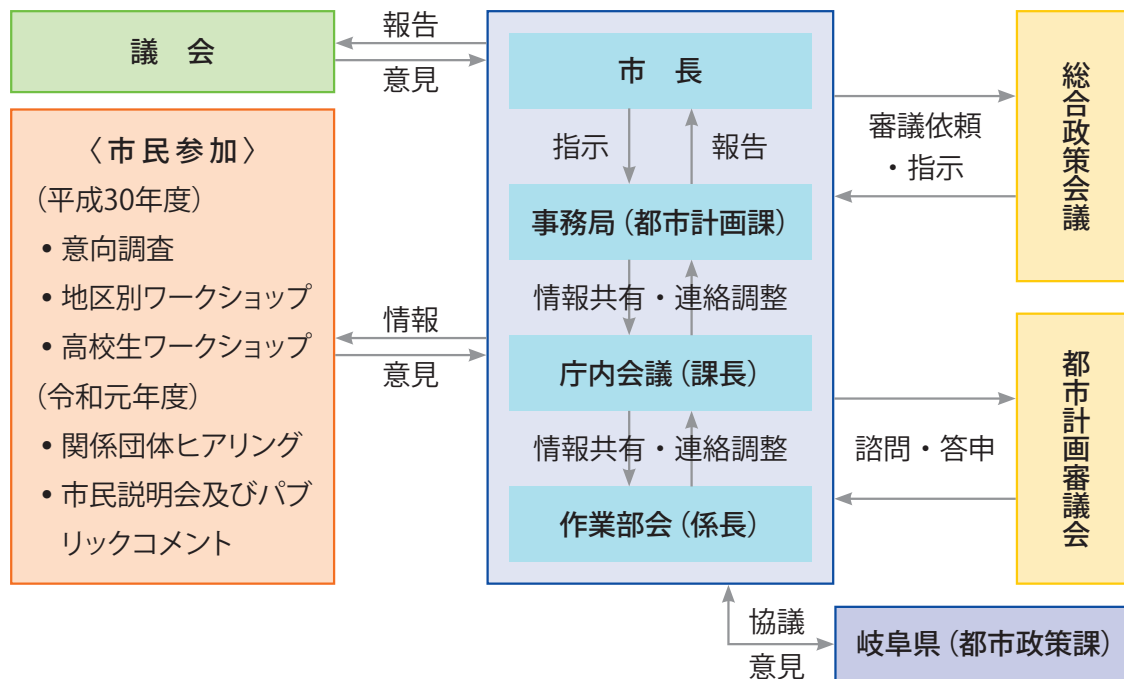

資料編

1 都市計画マスタープラン改定の検討体制・策定経緯

■ 検討体制



■ 策定経緯

年 月	内 容 (今後の予定を含みます)
2017年	11月 総合政策審議会 (審議・計画策定を承認)
	12月 平成29年度第2回都市計画審議会 (計画制度説明・計画策定を報告)
2018年	1月 庁内会議 (課長・係長会議) 設置
	2月 議員報告会 (計画制度の説明)
	3月 第1回庁内検討会議 (課長会議)
	5月 第1回庁内作業部会 (係長会議・キックオフ)
	5～6月 公募型プロポーザル方式 (委託業者の選定)
	8月 第1回未来のまちづくり委員会 (まちづくり基本方針 諮問)
	9月 第2回未来のまちづくり委員会 (策定方針・考え方等 審議)
	市民意向調査 (満18歳以上無作為抽出3000名郵送実施 回収率40.6%)
	10月 第2回庁内会議 (課長会議)
	11月 第3回未来のまちづくり委員会 (計画素案 審議)
	未来のまちづくりを考えるワークショップ (8地区各2回開催 (11月～12月))
	第3回庁内作業部会 (係長会議)
	平成30年度第1回都市計画審議会 (計画素案 審議)
	12月 第4回未来のまちづくり委員会 (計画素案 審議)

2019年	1月	第5回未来のまちづくり委員会（まちづくり基本方針（案）答申案審議）
		未来のまちづくり高校生ワークショップ 市内3高校開催（1月～2月）
	2月	未来のまちづくり委員会（まちづくり基本方針（案）会長答申）
		総合政策審議会（庁議）（まちづくり基本方針（案）審議）
		第4回庁内作業部会（係長会議）
		部課長会議（全部課長）
	3月	平成30年度第2回都市計画審議会（まちづくり基本方針（案）審議）
		（都市計画MP全体構想（素案）審議）
	5月	第5回庁内作業部会（係長会議）
	6月	第3回庁内会議（課長会議）
		令和元年度第1回都市計画審議会（継続審議）
	7月	総合政策会議（庁議）（2計画（案）中間報告）
		まちづくり協議会等意見交換会（都市計画MP見直し（案）意見交換）7月～8月
	8月	議員懇談会（2計画（案）中間報告）
		庁内会議委員 意見調整
	9月	令和元年度第2回都市計画審議会（継続審議）
	10月	岐阜県との計画案協議（意見調整）
		国土交通省との計画案協議（意見調整）
	11月	総合政策会議（庁議）（2計画（案）審議）
		令和元年度第3回都市計画審議会（諮問・答申（案）審議）
	12月	都市計画審議会答申（都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画）
		市民説明会（意見交換会）市内8地区会場
		パブリックコメント
2020年	1月	意見に対する修正
	2月	令和元年度第4回都市計画審議会（意見照会）
	3月	計画公表（告示）

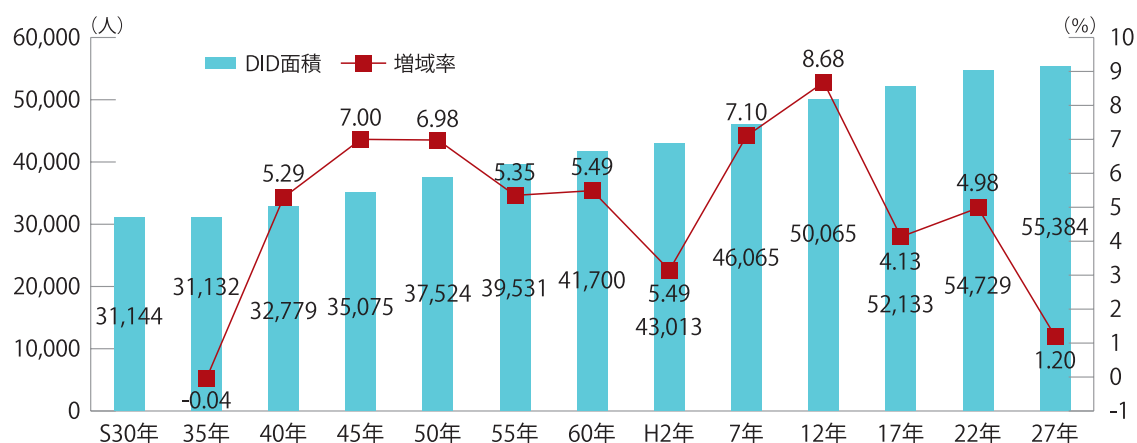
2 本市の現況

①人口動向

本市の人口は、平成27年国勢調査によると55,384人で、平成22年国勢調査より、655人(1.19%)増加しています。全国1,719市町村中1,419市町村(82.5%)で人口減少する中、美濃加茂市の人口は増加となっているものの、経年的にみると、以前に比べゆるやかな増加となっています。

年齢別人口の推移をみると、65歳以上の比率は22.5%で、前回に比べ3.0%増加しています。15～64歳比率が低下していますが、平成27年時点で65歳以上人口比率は22.5%と県平均よりも低い状況にあります。(岐阜県平均28.1%)

図1 人口の推移



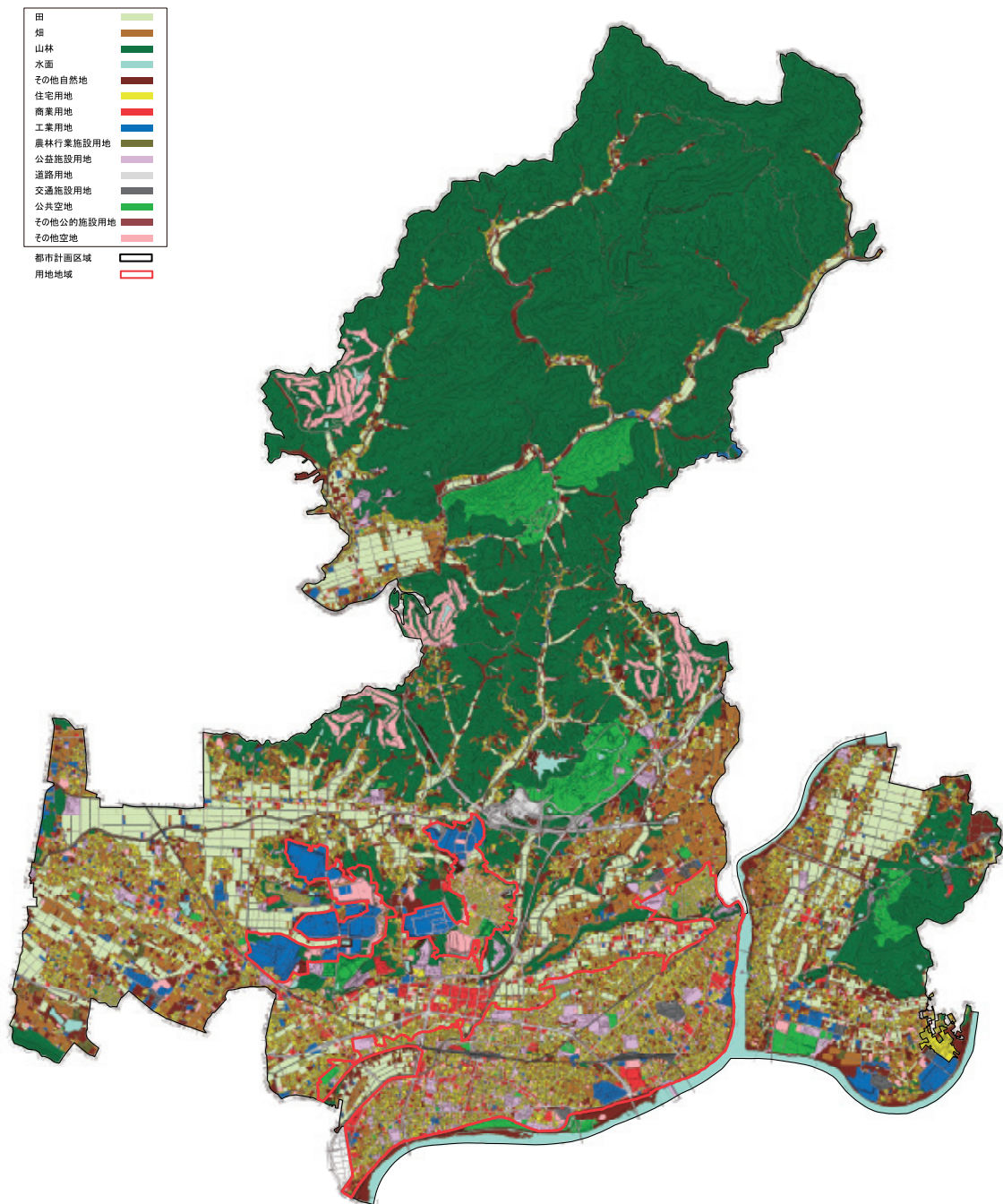
資料出所：国勢調査

②土地利用の現況

住宅用地は、用途地域及び加茂野地域や下米田地域の用途地域外にも広がっています。

商業用地は美濃太田駅北側の用途地域内外にまとまってあり、美濃太田駅南側にも点在している状況です。

図2 土地利用の現況



③農地の状況

平成2年に1,419ha（総計）あった経営耕地面積は、平成27年には675haまで減少（52％減）しています。特に、平成17年から平成22年にかけて半減しています。

地区別では、市街地部である太田や古井を除くと、三和や下米田、伊深などで減少幅が大きくなっています。

■ 地区別経営耕地面積

区分	平成2年 (ha)	平成7年 (ha)	平成12年 (ha)	平成17年 (ha)	平成22年 (ha)	平成27年 (ha)
太田	118	97	76	98	29	19
古井	128	115	103	93	37	34
山之上	236	199	184	251	151	134
蜂屋	269	225	216	251	129	173
加茂野	262	228	283	257	176	147
伊深	77	72	61	115	41	35
三和	55	49	48	55	23	18
下米田	275	250	231	234	138	116
総計	1,419	1,234	1,202	1,355	722	675

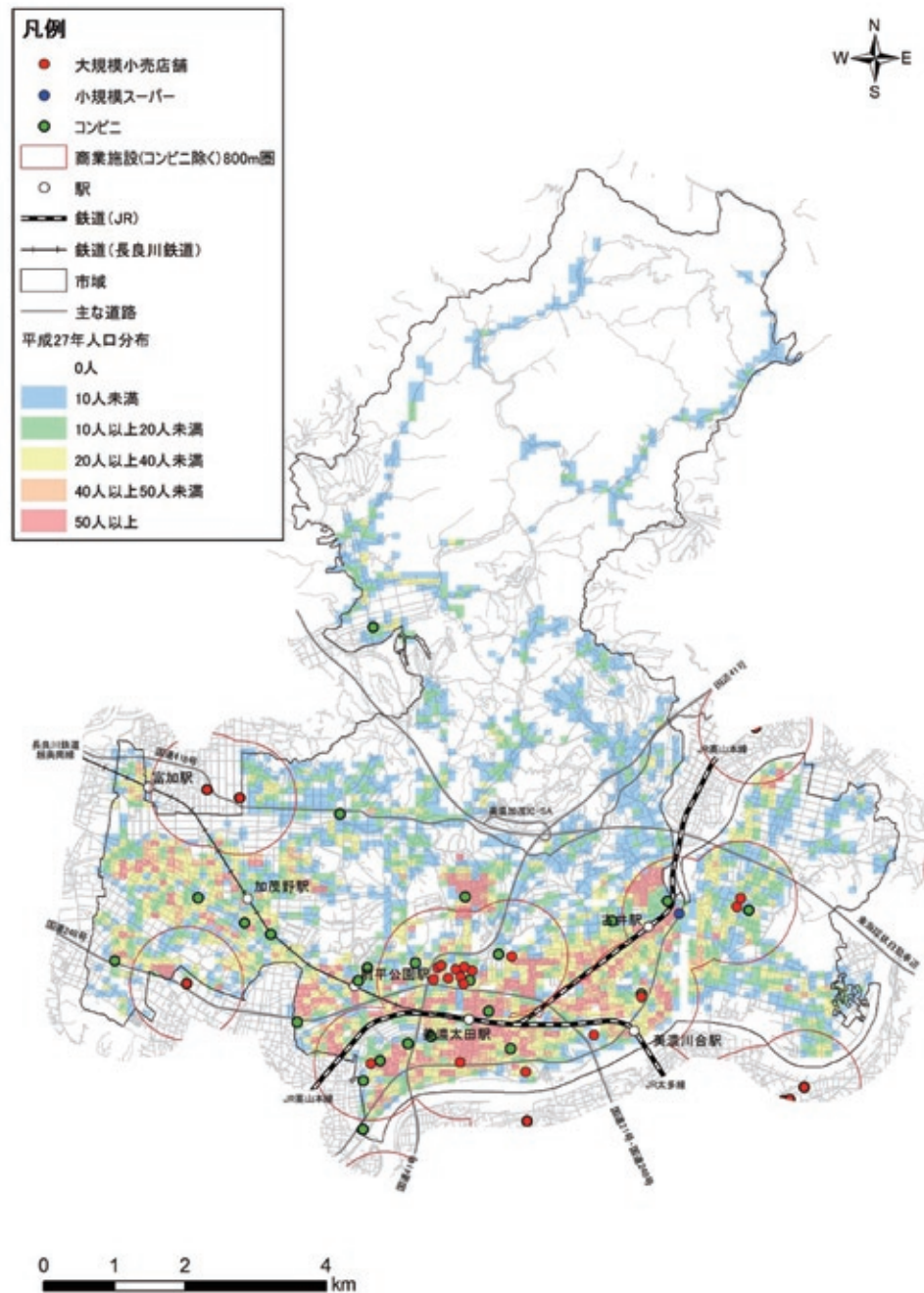
※ 上記の数値は、田、畑、樹園地の合計値。

資料出所：平成29年度美濃加茂市統計書

④商業施設の状況

商業施設は大規模小売店舗が多く、美濃太田駅北側の用途地域外に集積しています。その他、市の南部に分散して複数立地していますが、加茂野地域は地域内に大規模小売店舗がない状況です。

図3 商業施設の立地状況

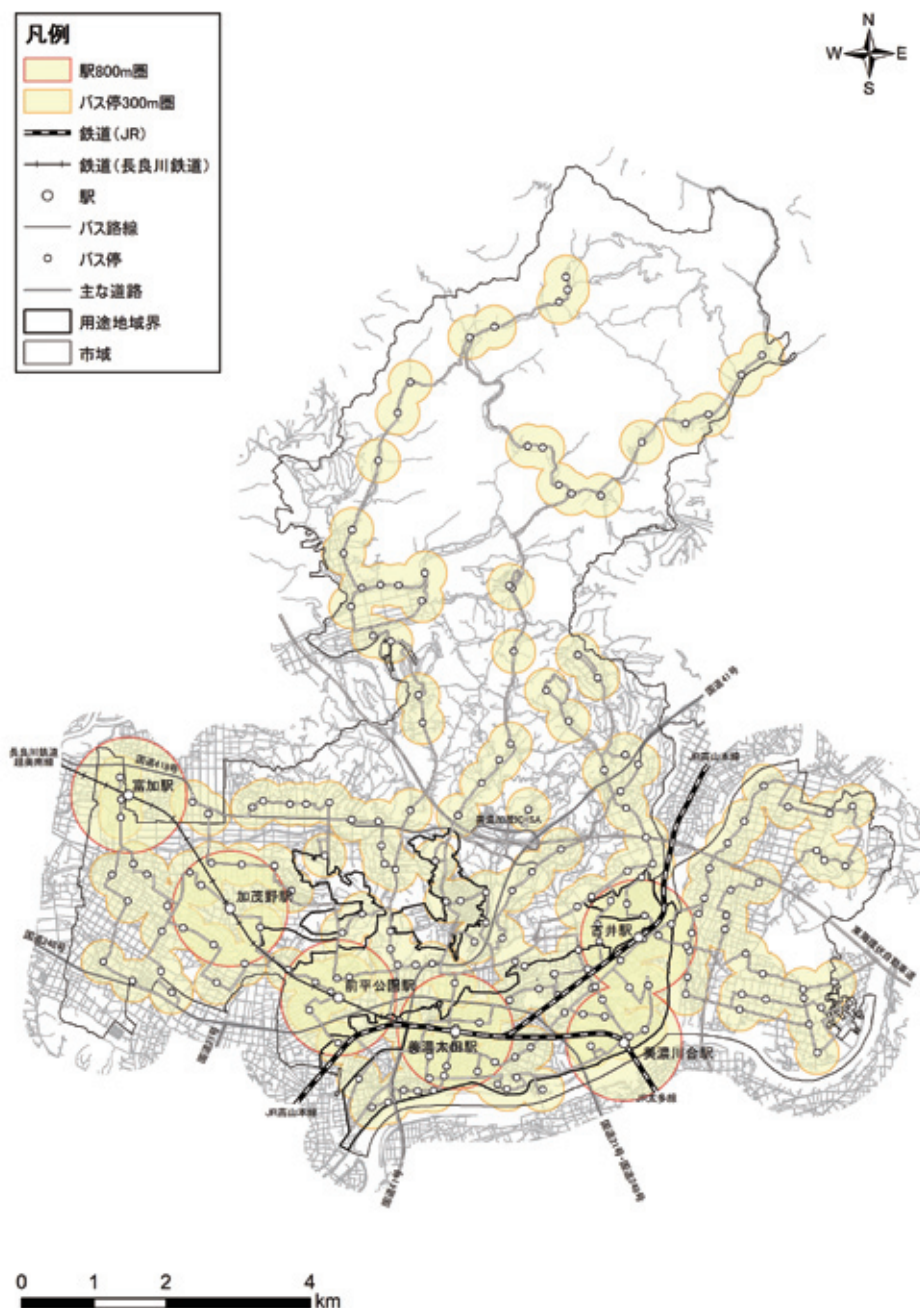


⑤都市交通の状況

鉄道は、市域を東西へ横断する形でJR高山本線、可児市、多治見市方面を結ぶJR太多線、富加町、関市、美濃市、郡上市方面を結ぶ長良川鉄道越美南線があります。

路線バスは、東鉄バス八百津線と「あい愛バス」が運行しており、居住地を広くカバーしています。公共交通空白地は少なく、市域を広くカバーされている状況にあります。

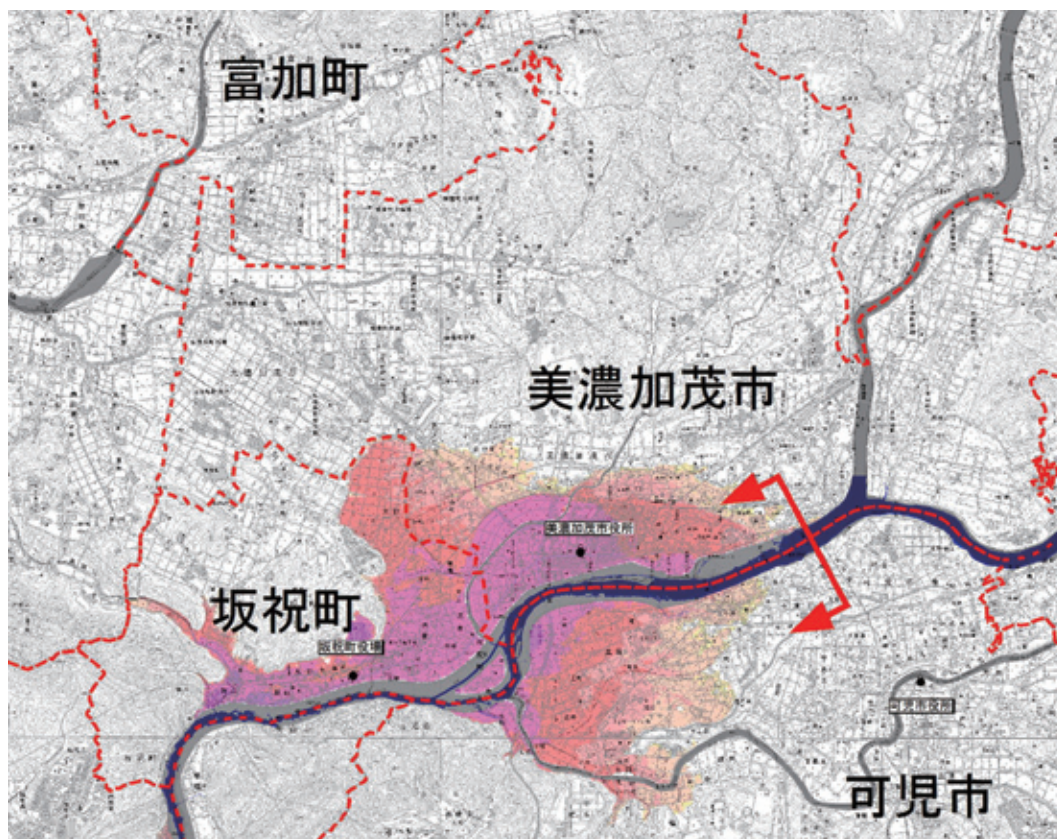
図4 駅勢圏、バス停勢圏の状況



⑥想定し得る最大規模の降雨での浸水想定区域及び水害危険情報

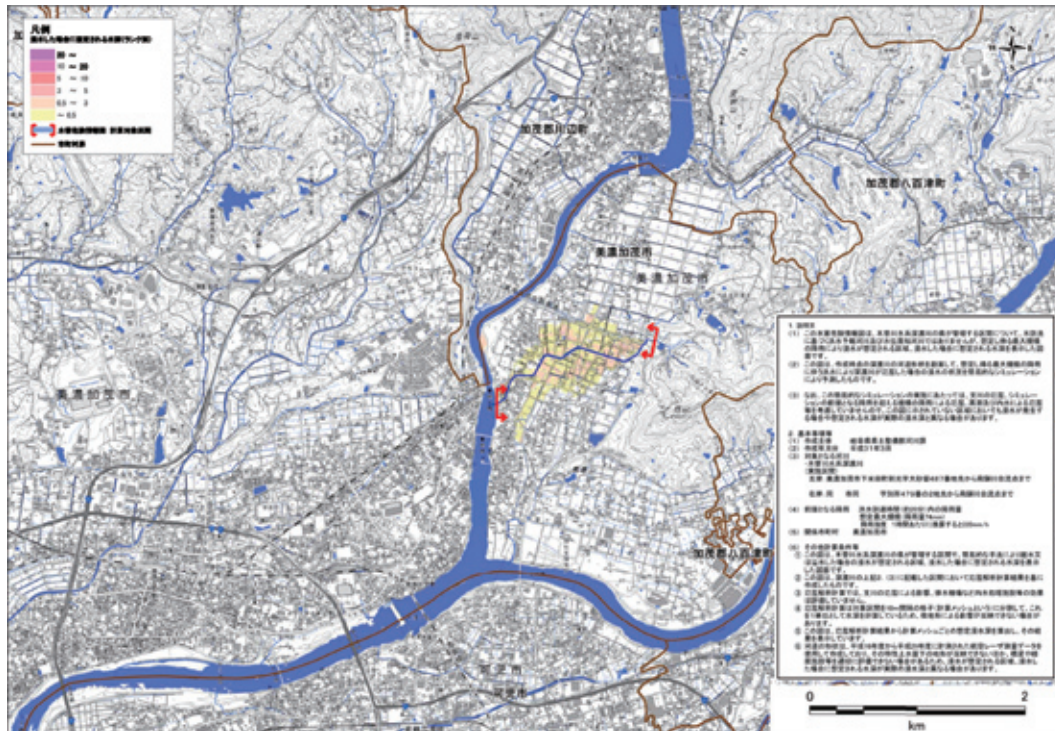
想定し得る最大規模の降雨「L2規模」での、洪水浸水想定区域図を河川ごとに示します。これは河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と浸水深さ、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域を表示した地図です。

図5 木曽川



資料出所：国土交通省 中部地方整備局 河川部

図6 深渡川

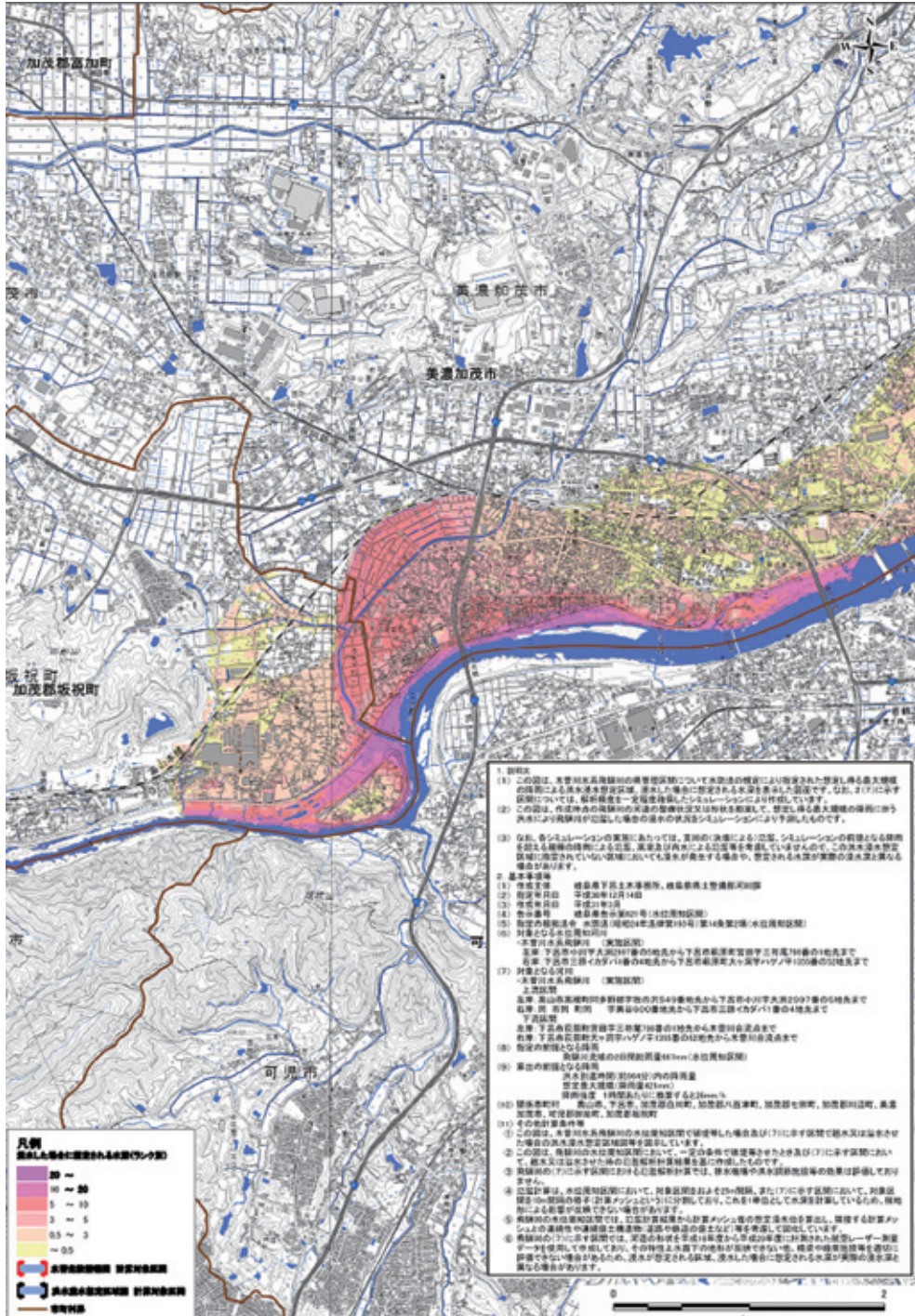


資料出所：岐阜県 県土整備部河川課

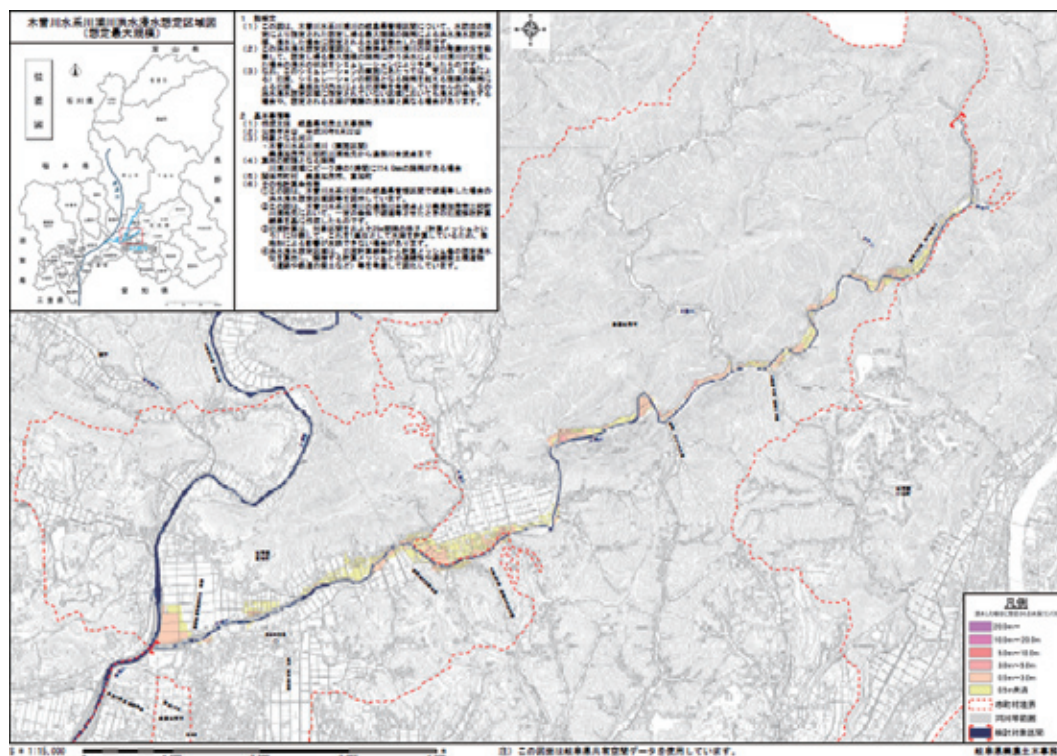
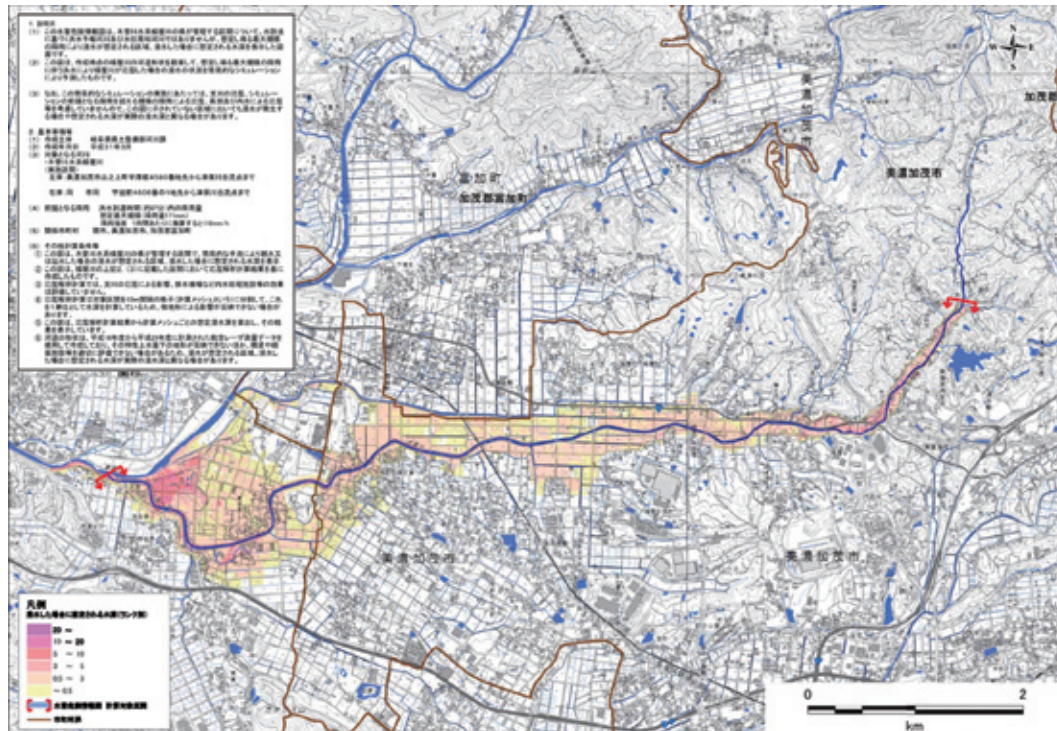
資料編



図8 飛騨川(その2)







2 本市の現況

3-1 市民意向調査結果

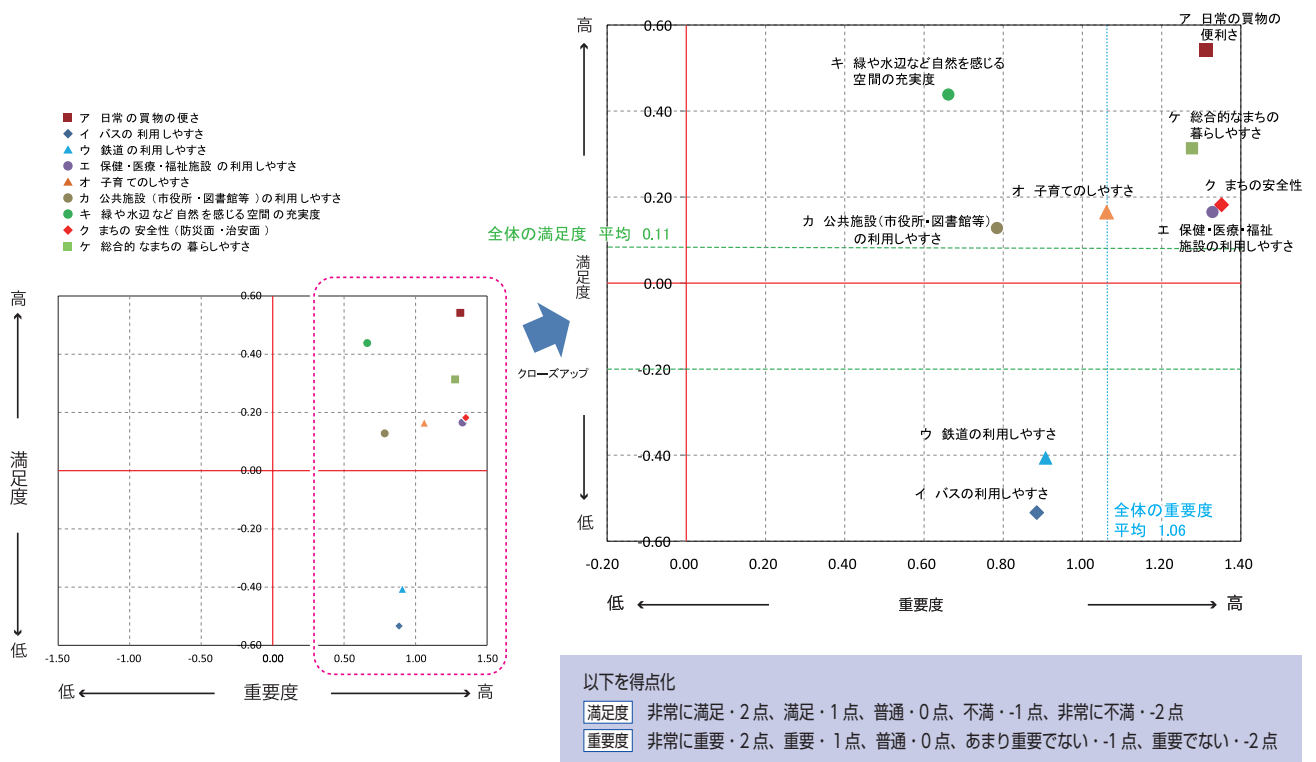
【市民アンケート調査の実施概要】

- ① 調査対象 18歳以上の市民（無作為抽出）
- ② 調査数 3,000人
- ③ 調査方法 郵送配付・郵送回収
- ④ 調査期間 2018年（平成30年）9月11日～9月25日
- ⑤ 配布・回収状況 配布 3,000、有効回答1,217（回収率40.6%）
- ⑥ 回答者属性（概要）
 - 性別：女性が50.0%、男性が44.0%
 - 年代：20歳未満（2.0%）、20歳代（7.4%）、30歳代（11.4%）、40歳代（17.7%）、50歳代（13.6%）、60歳代（21.0%）、70歳代（16.8%）、80歳以上（9.04%）

(1) 暮らしの現状の満足度について

満足度と重要度の結果を得点化しグラフ化したところ、全体的に満足度（平均）は0を超え、高い傾向がうかがえます。特に日常的買物の便利さや自然などで評価が高く、一方、鉄道やバスの利用しやすさについては、満足度がやや低くなっています。重要度は全体の項目で高く、特にまちの安全性や保健医療福祉項目での重要度が高くなっています。

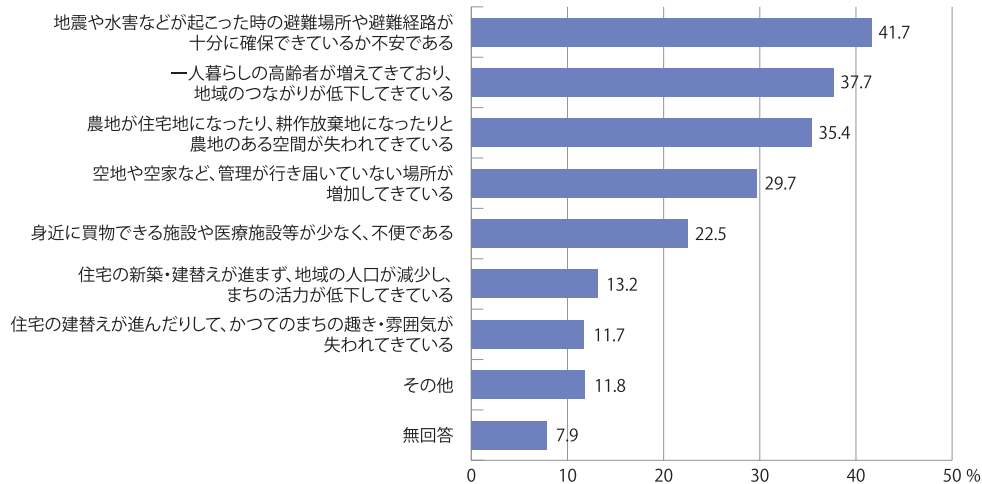
図12 暮らしの満足度と重要度



(2) 暮らしの現状の問題・課題について

「災害時における不安」、「高齢化と地域のつながりの低下」、「農地空間のあり方」、「空地・空家の管理不全」といった事項に対する問題意識が高くなっています。

図13 地域で感じている問題・課題



(3) 居留意向、居住環境で重視する点について

居留意向は高く、「ずっと住み続けたい＋出来れば住み続けたい」をあわせると8割近い人が住み続けたいという意向を示しています。

重視する居住環境については、「買物の利便性」「治安の良さ」「通勤・通学の利便性」「災害に対する安全性」が上位にきています。

図14 居留意向

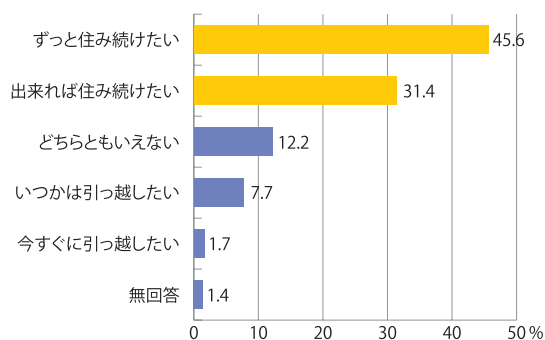
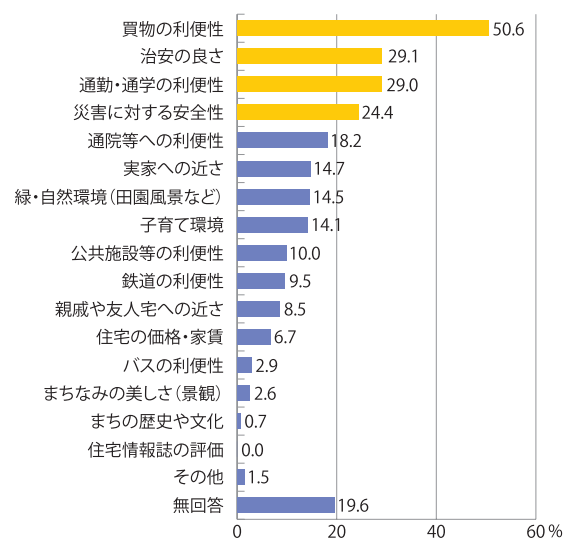


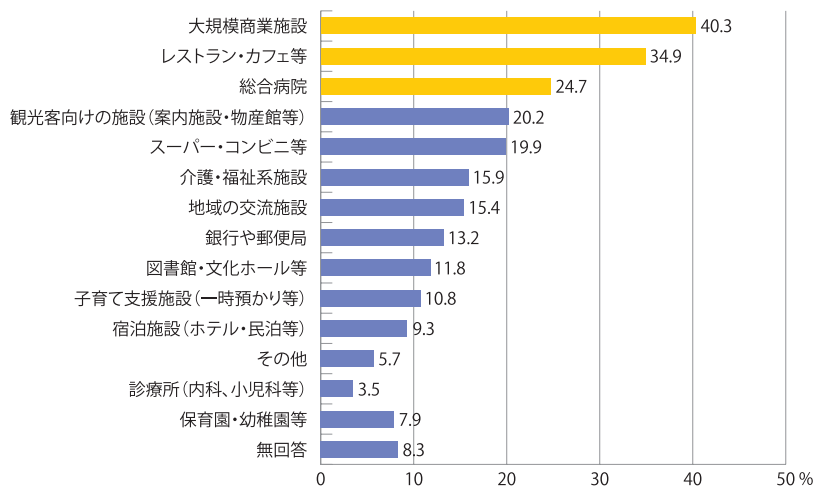
図15 居住環境で重視する点(順位)



(4) 美濃太田駅周辺について

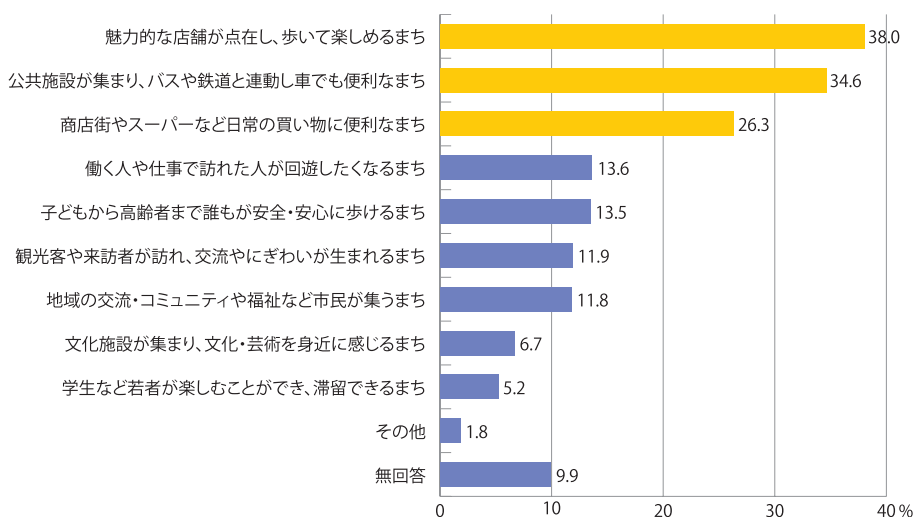
美濃太田駅周辺への必要機能・施設は、「大規模商業施設」、「レストラン・カフェ等」、「総合病院」、「観光案内・物産館等」、「スーパー・コンビニ等」、「介護・福祉系施設」が主なものとなっています。

図16 美濃太田駅周辺の必要な施設



美濃太田駅周辺がどんなまちになるとよいかでは、「歩いて楽しめるまち」、「公共施設等が集まる便利なまち」、「買い物に便利なまち」等が上位にきており、楽しい便利なまちへの期待がうかがえます。

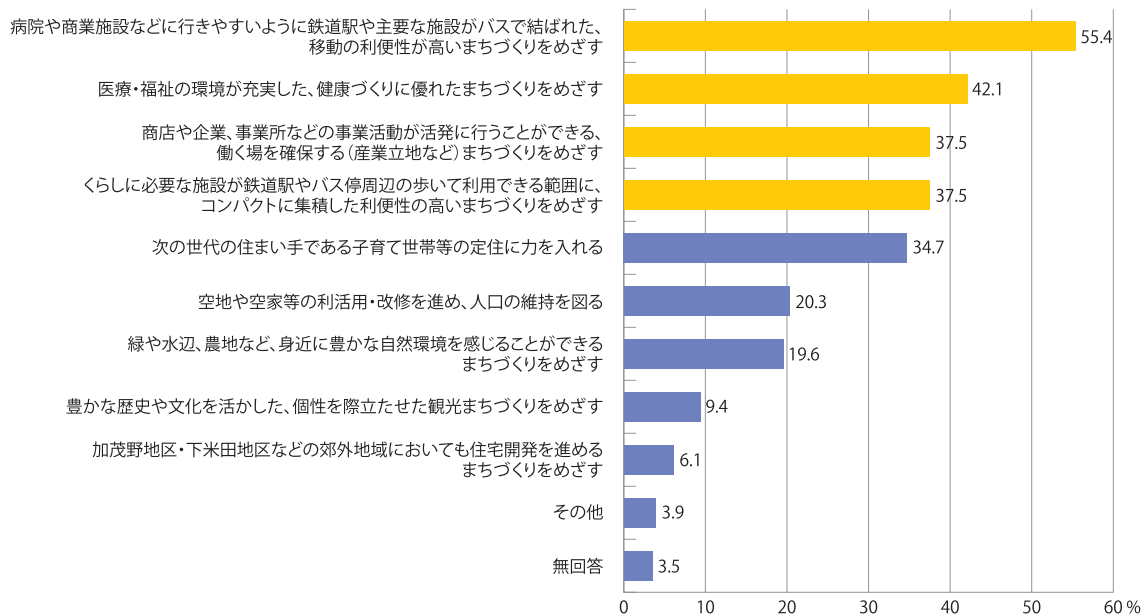
図17 美濃太田駅周辺がどのようなまちになると良いと思うか



(5) 今後のまちづくりの方向性について

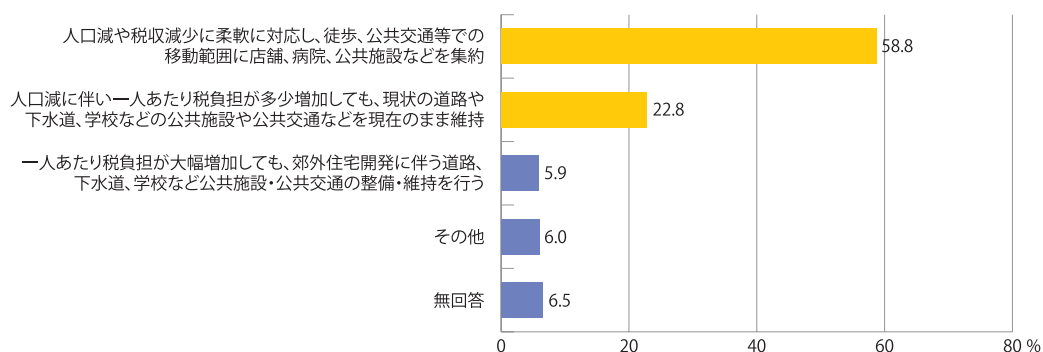
美濃加茂市の今後の目指すべきまちとしては、「移動の利便なまち」、「医療・福祉環境の充実」、「事業活動・働く場」、「生活利便施設がコンパクトに集積したまち」「子育て世帯の定住促進」が上位にきており、生活利便性に優れ、働く場が整った安心して暮らせるまちへの期待がうかがえます。

図18 今後の目指すべきまちづくりの方向性



美濃加茂市の発展については、「歩いて・公共交通で暮らせるまち」、「税負担増で現状を維持」が多くなっています。大きな拡大はあまり望まず、現状を維持しつつ充実した利便性のあるまちが望まれていることが分かります。

図19 美濃加茂市の発展について



3-2 ワークショップのまとめ

(1) 未来のまちづくりを考えるワークショップ

【未来のまちづくりを考えるワークショップの概要】

開催期間：2018年（平成30年）11月12日～同年12月7日

開催回数：市内8地区において、各地区2回開催

意見交換テーマ：

第1回 自分・家族、地区、市全体の「長所」、「課題」、「目指す10年後の姿」

第2回 10年後の姿を実現するために「市民（自助）」「地域（互助・共助）」「役所（公助）」で取り組むこと。目指す10年後の姿を実現するために必要な拠点や機能（公共施設やまちづくり団体、道路、交通等）。

■ 各地区のまとめ（主なものを抜粋）

地区名	長所	課題
太田	・鉄道駅があり交通の便が良い ・外国人が多い／外国人レストラン ・公共施設が多い ・飲み屋街がある	・空家が多い ・駅前がさびしい／商店街がさびれている ・外国人観光客が太田宿に観光に来ない
古井	・近所づきあいが盛ん ・スポーツが盛ん ・多国籍の人と交流ができる	・地域のつながりが希薄 ・自治会、子ども会等の活動が縮小化 ・空家の増加／独居高齢者の増加
山之上	・自然が豊か ・農業（梨・柿）を頑張っている ・子どもが遊べる場所が多い	・農業の担い手不足 ・公共交通の利便性が低い（不便） ・子育てへの不安
蜂屋	・蜂屋柿 ・子育て環境が良い ・若い人が増えている	・公共交通の利便性が低い（不便） ・耕作放棄地が増えている ・新住民と旧住民の意識の差
加茂野	・車で5分で買物ができる ・人のつながりが強い ・何となく住みやすい印象がある	・公共交通の利便性が低い（不便） ・農地から住宅地へ（農地の乱開発） ・新住民のまちづくりへの意識の低さ
伊深	・若い世帯が増えている ・カフェなどお洒落な施設が増えている ・あい愛バスの本数が増えた	・空家の増加／独居高齢者の増加 ・鳥獣害の増加 ・耕作放棄地が増えている
三和	・まちづくり協議会の活動が盛ん ・自然が豊か ・子育て環境が充実している	・若い世代の流出 ・農業の担い手不足 ・レッドゾーンが多く危険
下米田	・買物が便利 ・田園風景が美しい ・子育て環境、福祉環境が充実	・自治会加入者の減少 ・空家の増加 ・外国人の増加によるマナーの問題

■ 市民・地域・役所の取組事項のまとめ（主なもの）

テーマ	市民（自助）	地域（互助・共助）	役所（公助）
近所同士で見守りや手助け	近所、隣のお付き合いを進めていく	町内で「小さな手助け」を組織化して活動する	個人情報をある程度出してほしい
空家対策	自分の地域で空家があるかを調べておく	地域全体で情報をまとめていく、提供（空家バンク）	- 水まわり修理の助成 - 空家への移住者に支援・助成
元気な年寄りが増える	- 日頃から足腰をきたえる - ウォーキング	色々なスポーツをやってみる／そういう機会をつくる	高齢者が出ていく場をつくってほしい
自分たちで稼ぐ	自分の田んぼは自分で守る	営農組合（田んぼ）が欲しい	建物をつくる（直売所など）ための経済的支援
交流	井戸端会議の雰囲気話し合い	地域みんなが集まる交流センターになっている	利用しやすいバリアフリーの施設を建設
子どもが地域で守られている	地域ぐるみで子育てをする。おとしよりの手を借りる	子供達との交流・楽しみの場を持つ	- 子育て支援施設の運営 - 居場所づくり
働き場が地域に多くある	土地の提供	企業と住民の協働（イベントなど）	企業と地域をつなげる（交流含む）
外国人とともに暮らす	積極的に声をかける（きっかけが必要）	- 外国人を受け入れる - 情報の提供	日本文化・習慣の教育の場を常態化
世代間交流	- 祭りに参加する - ピンピンコロリ	- 毎日朝市 - 世代間の文化の継承	- あい愛バス - 多目的施設、毎日朝市
スポーツ施設	イベントに参加する	外国人と交流！サッカー大会	- 他地区との交流を深める！ - 託児所も併設
自治会・防災	- 役員を引き受ける - 自分で家族を守る	自治会加入のメリットをつくる	役員を受けた人へのインセンティブ
公共交通	あい愛バスを利用してみる	公共交通機関の利用促進	コミュニティバスと電車の時間を合わせる
消防団	- 消防団の良さを伝える - 自主防災の必要性、理解を教える	- 自治会員を増やす - 現団員を住民に周知していただく	- 活動手当を増やす - 団員報酬を増やす - 住民税の減税
耕作放棄地	田を耕すことを継続していく	- 農地バンクで人を呼ぶ - 手間替え制度の復活	- 電気柵の補助 - 協同作業の補助金
移住者を増やす	自分達が魅力を見つけ、市外に発信する	- 楽しいサークルを作る - 空家提供を促進する	- 先進地研修の実施 - 安く家を建てられる制度
Uターンで同窓会！	家族を美濃加茂に住まわせる	嫁さん同士の（お子さんがいる）会員の定期開催	- 農地転用できるように - 子育てサロンの活用 - あい愛バスをスクールバスに



テーマ	市民（自助）	地域（互助・共助）	役所（公助）
商店街の活性化	・飲んだ店の紹介をどんどんする ・友達を呼ぶ ・祭りに出かける	・商店街2階に住み1階は開業 ・祭りをやる ・サンバパレード！	・商店街の実態を知る（ききこみ） ・リノベーションスクール ・駐車場の整備
観光	・個人が所有している家屋を貸し出す（空屋対策として）	・駅前商店街の空家をコミュニティとビジネス育成通りに	・新ビジネスを行うための充実した支援
自然を守る残す	・町内の名所を残す／共有する／記録する ・農体験イベントをする ・生活のスタイルを見直す	・直売所をつくる ・川をきれいにする ・山や木が必要な暮らしを見直す	・町内の公園を整備して、人が集まれるようにする ・開発を制限 ・道路はガタガタでも自然を守るのを優先する
地域行事を残す	・自治会の夏祭りを復活したい！ ・四季の行事を残す／盛り上げる	・聞き書きで、昔を伝え、残す／記録する ・大人だけ、子どもだけ、一部だけとならないように工夫する	・普通の日常会話の中のちょっとしたきっかけをすぐに実行するとお年寄りが喜ぶ ・防災訓練は必ず続ける

3-3 未来のまちづくり高校生ワークショップ

【未来のまちづくり高校生ワークショップの概要】

◇趣旨・目的

- ・美濃加茂市第6次総合計画、立地適正化計画、都市計画マスタープランの策定に当たり、若者の意見聴取を行うことを目的に、高校生を対象としたワークショップを実施しました。
- ・若者目線によるまちの魅力や課題の再確認を行いながら、魅力を活かしたまちづくりのアイデア、課題解決に向けてすべきことなどについて意見交換を行いました。

	私立美濃加茂高校	県立加茂高校	県立加茂農林高校
開催日時	2019年(平成31年) 1月28日(月) 16時～17時5分	2019年(平成31年) 1月29日(火) 17時～18時30分	2019年(平成31年) 2月8日(金) 16時10分～17時30分
参加者	6名	4名	8名

■ワークショップのまとめ(概要) (※WS時の発言を大きく改変せずに掲載しているため事実と異なるコメントもあります)

	テーマ① 現在的美濃加茂について語ろう	テーマ② 未来的美濃加茂について語ろう
私立美濃加茂高校	〈好きなところ・誇れるところ〉 ■バス・電車すばらしい！ ・あい愛バスのお金が安い ・バス停、駅が整っている ■外国人の方へのやさしさ ・放送で多国語がある ・外国人が多い、労働力率UP ■すてきな施設など ・ぎふ清流里山公園がある ・リバーポートパークがある ・中之島公園(老若男女楽しめる) ・東図書館 ■食べもの ・山之上の梨が有名 〈残念なところ・変わるといいところ〉 ■あい愛バスの悪いところ ・本数が少ない ・バス停に屋根が無い ■電車の良くないところ ・長良川鉄道の運賃が高い/本数が少ない ・名鉄が無い ・(古井駅近く)踏切が開くのが遅い ■施設が充実してほしい ・陸上競技場が無い!! ・スポーツ施設がもっとほしい ・外国人のための施設が少ない ・駅周辺に施設・お店が少ない ■道路の良くないところ! ・坂が多い! ・道が狭い	■梨を活かして… ・梨を使った食べ物/インスタ映えに使える! ・梨を使った食べ物を有名にさせる! ・山之上の梨とか、地産地消 ■里山公園 ・里山公園の観光客を増やしたい ■まちのにぎわい ・たくさんの行事があるまち ・市全体で盛り上げられるようなまち ■美濃加茂オリジナル ・美濃加茂にしかないまち ・美濃加茂だからこそ実現できる(行事)まち ・ショッピングモールがほしい ・タワーをつくる ・テーマパークがほしい ■外人シリーズ ・外国人が多いので大きな工場があるまちに ■安心のまち ・治安の良いまちにしてほしい/犯罪の少ないまち ■インターネット環境の便利なまち ・いろんな所でWIFIが飛んでいるまち ■どんな人でも過ごせるまち! ・みんなが健康で過ごせる ・病院に行きやすいまち ・少子高齢化が進んでいるので、介護施設や保育園などが整ったまち ■やっぱり美濃加茂! ・活気ある楽しいまち ・なにかで有名なまち ・やっぱり美濃加茂がいい!と思えるまちにしてほしい

	テーマ① 現在的美濃加茂について語ろう	テーマ② 未来的美濃加茂について語ろう
	- 舗装がされていないところがある (山之上)暗くて怖い/街灯が少ない ■その他 - インスタ映えスポットがほしい	- 同世代がたくさんいるまち - 挨拶あふれるまち 笑顔がたくさん! 1日中美濃加茂ですごせるといい
県立加茂高校	〈好きなところ・誇れるところ〉 ■地域活動が活発 - おん祭など地域のイベントが盛ん ■図書館施設充実 - 開館時間が長い - 施設が大きい - 勉強スペースがある - 蔵書が多い ■施設が充実 - 公共施設が充実している - 文化会館がきれいで使いやすい - 文化の森の資料が充実している - アビタがあるところが良い - 学校の近くに寄り道できるところが多くて楽しい - バーベキューができる ■駅が充実 - ロータリーが広い - 無料で自転車が止められる - 電車の本数が多い - 美濃太田駅がきれい ■文化が豊か - 太田宿がきれいに残っている - 演劇が盛ん - 有名人が意外という ■環境が良い - 住みやすさランキング上位 - 大きな坂が無い - 川沿いが気持ちいい 〈残念なところ・変わるといいところ〉 ■イベント関連 - どんなイベントをやっているのか分かりにくい - おん祭はごみのポイ捨てが多い - おん祭のPRが不足 - 駅からおん祭会場までの道が遠い ■施設の不便なところ - 文化会館に暖房をつけてほしい - リバーポートパークのイベント情報が分からない - 施設の案内看板が分かりにくい ■道路の整備が不十分 - 車と接触しそうな道がある - 自転車に乗っていると危ない - 道の凹凸が気になる - 道が暗い ■消えた歴史的行事 - ライン下りが無くなってしまった ■まちがもっと栄えてほしい - 施設間の距離があり移動が面倒 - 休日に友達と遊ぶようなところが無い	■施設の充実度UP - 駅周辺の施設やイベントを充実させる - 文化を体験できる施設 - リバーポートパークをもっと利用しやすく楽しい施設にする - 駅の近くに施設や店を増やす - 今ある施設をもっとキレイに! - 大きなショッピングモール ■イベントの充実度UP - おん祭の会場を大きくする - 駅の近くでイベントが実施する ■レッツPR! - ゆるキャラの知名度UP - Webサイトを見やすくする/イベント情報等の充実 - 他のまち、県へPR活動 ■歴史を残す! - 歴史的な文化、まちなみを継承する - VRでライン下り体験 ■まちの風景 - ごみのポイ捨てが無い - お花のあるまちにしてほしい ■交通環境の整備 - 道の段差を減らす - 街路灯のLED化 - 安全な道/安心して通れる道 - 川沿いから綺麗な道、道路の拡幅 ■もっと!公共交通の充実化! - 便数を増やす - シャトルバス等で施設間を移動 - 名古屋駅まで名鉄が通ってほしい

	テーマ① 現在の美濃加茂について語ろう	テーマ② 未来の美濃加茂について語ろう
県立加茂 農林高校	〈好きなおところ・誇れるところ〉 ■お店関係が豊富 ・娯楽施設が多い(ゲーセン、カラオケ) ・飲食店が多い ■自然豊か ・公園が多い ・自然がいい ■交通機関の良いところ ・長良川鉄道がある ・バスが通っている ■ダイバーシティ ・外国人が多い 〈残念なおところ・変わるといいところ〉 ■ショッピング施設等が少ない ・映画館が欲しい ・おしゃれな店が少ない ・放課後に行けるちょっとした飲食店がほしい(もんじゃ焼きが食べたい) ■運動ができる場所が欲しい ・市民が使えるオープンな体育館、運動公園などの施設が少ない ・遊ぶ場所が少ない ■交通が不便 ・名鉄が通っていない ・長良川鉄道の料金が安い ・バスの本数が少ない ・あい愛バスのルートが不便 ・美濃太田駅に自転車が多く停められない ■道路環境 ・道が暗い ・大手町のあたりが暗くて怖い ・道が凸凹	■娯楽がほしいよ ・栄えてほしい ・もっと服屋ができてほしい ・美濃加茂にアピタよりも大きいショッピングモールをつくらしてほしい ・アミューズメントパークが欲しい(お台場くらい) ・市民プールをつくらしてほしい ・専門店がほしい(お茶とコーヒー) ・スポッチャのような施設がほしい ・リバーポートパークにもっと気軽に行けるようにしたい ・水族館がほしい(アクアトミみたいな) ・観覧車がほしい! ・映画館が近くに欲しい ■文化を大切にしたい ・堂上蜂屋柿を大切にしてほしい ・多文化の交流が増えてほしい ・地域の交流を大切にしてほしい ・美濃和紙を大切にしていきたい ■仕事の幅を増やしたい ・就職先を増やしたい/サービス(産業)系 ■道路環境を良くしてほしい ・自転車専用の道がほしい ・歩道と車道に段差をつけて ・歩道の脇に木を等間隔で置いてほしい ・歩いていて楽しいまち ・街灯を増やしてほしい ■おん祭・イベントの発展 ・祭を続ける ・祭りの魅力的なポスターがいっぱいあるまちに ・おん祭のレベルを上げてほしい ・コンサートホールがあるといい ■交通の便を良くしたい ・長良川鉄道の料金を安くしてほしい ・(バス・電車)交通の便を良くしたい ・駅ナカができてほしい ・リニアモーターカーの導入 ・新幹線が通ってほしい ・空港が欲しい(国際線) ■自然も大切に! ・自然を守る ・地球温暖化を気にしてほしい

3-4 パブリックコメントについて

■ 実施結果の概要

期 間：

令和元年12月6日(金) ～ 令和元年12月24日(火)

意見の提出結果：

意見提出者数 4人

意見提出件数 6件(メール2件、紙文書4件)

■ 意見の内容別件数

計画全般に関することについて 1件

加茂野のまちづくりについて 4件

地域主体のまちづくりについて 1件

3-5 市民説明会について

■ 実施結果の概要

地 区	日 時	会 場	参加者人数
太 田	2019年12月19日(木) 19時～	生涯学習センター	18人
古 井	2019年12月10日(火) 19時～	上古井交流センター	30人
山之上	2019年12月11日(水) 19時～	山之上交流センター	7人
蜂 屋	2019年12月12日(木) 19時～	蜂屋交流センター	19人
加茂野	2019年12月13日(金) 19時～	加茂野交流センター	18人
伊 深	2019年12月16日(月) 19時～	伊深交流センター	7人
三 和	2019年12月17日(火) 19時～	三和交流センター	15人
下米田	2019年12月18日(水) 19時～	下米田交流センター	14人
	合 計		128人

4 用語集

■ あ行

用 語	内 容
IoT	様々なモノやヒトがネットワークを通じてつながり、情報交換することにより相互に制御する仕組み。「モノのインターネット」とも呼ばれる。
ICT	通信技術を使って人とインターネット、人と人がつながる技術のこと
空家バンク	売買や賃貸を希望する空家の情報を登録してホームページ等で紹介し、空家を売ったり貸したりしたい所有者と美濃加茂市に住みたい人をつなげる制度
アメニティ	住み心地の良さ、快適環境のこと
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと（訪日外国人旅行）
ウォーカブル推進都市	ひと中心の空間形成、まちなか空間の多様な利活用促進などの市町村や民間事業者による取組について賛同するか、何らかの取組や構想を持つ自治体
AI	記憶や学習といった人間の知的な活動をコンピューターに肩代わりさせることを目的とした研究や技術のこと
オープンスペース	広場、公園、農地など建物によって覆われていない土地又は敷地内の空地

■ か行

用 語	内 容
幹線道路	都市の主要な交通を受け持っており、都市の骨格を形成する道路
旧耐震基準	1981年5月31日以前の耐震基準のことで、震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しない程度の基準とされている。
狭あい道路	幅員4m未満の道路のこと
協働	協力して働くこと。市民や企業・団体と行政が互いに役割を担い一緒に進めていくという意味
クリーンパートナー制度	地域の道路や公園など、特定の場所を清掃・除草作業を行う団体に道具の貸出しやゴミの回収などの支援をする制度
景観計画重点区域	良好な景観の保全・形成を図るため策定した景観計画の計画区域で、美濃加茂市では中山道太田宿地区・伊深地区・三和地区が指定されている。地区ごとに独自の制限を設けている。
減災	大規模な自然災害の発生そのものを防ぐことは出来ないことから、発災時の被害を最小限に食い止めるための取組
公共下水道	主として市街地における下水を排除して、処理するために地方公共団体が管理する下水道のこと
耕作放棄地	以前耕作していた土地で、過去1年以上農作物を作付けせず、農家が数年の内に再び作付けする意思のない土地のこと
交通結節点	異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。移動の一連の動きの中のひとつの重要な要素であり、「つながる空間」と「たまる空間」としての役割を有している。美濃加茂市では美濃太田駅が交通結節点となっている。
高齢化率	全人口に占める65歳以上の割合のこと

用 語	内 容
コーホート推計	年齢別人口の変化に伴って生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生及び人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法
コミュニティ	地域社会のこと。住民が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域及びその人々の集団
コミュニティバス	交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、市町村などが主体的に計画し、運行するバス。『あい愛バス』が市内8路線で運行されている。
コモンズ協定（立地誘導促進施設協定）	低未利用地や空家・空店舗等を活用して地域住民等が共同で管理する広場やコミュニティ施設をつくった際に、それらが適正に管理・活用されるように地権者の間で協定を結び、適切に運用していく制度。固定資産税減額等の特例措置がある。

■ さ行

用 語	内 容
サテライト	中心となるものから離れてその機能の一部を担うもの。山之上、蜂屋、伊深、三和、下米田地域を5つのサテライト拠点として位置づけており、他の拠点へ公共交通で移動しやすい環境を整備している。
少子高齢化	出生率の減少による少子化と高齢者の増加による高齢化の2つが同時に発生している状態のこと
人口集中地区（DID）	国勢調査で設定された地区で、人口密度1haあたり40人以上の地区が集合し人口5,000人以上となる地域のこと。美濃太田駅の南側に広がっており、近年徐々にその面積は増加している。一方、DID人口密度や全人口のDID人口が占める割合は低下しており、市街地は拡散傾向にある。
ストック	公共投資によって形成されてきた社会的資本のこと
スマートウェルネスシティ	健康をこれからのまちづくりの基本に据えた政策を連携しながら実行することにより、最新の科学技術や科学的根拠に基づく持続可能な新しい都市モデルのこと
生物多様性	生きものの種類だけでなく、長い歴史のなかで育まれてきた生きものの相互のつながり・関係性を表すもの
Society 5.0	日本が提唱する未来社会のコンセプト。サイバー空間（仮想社会）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会を指す

■ た行

用 語	内 容
地区計画	小規模な地区を対象に、区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の街区を整備し、保全するため定められる計画。美濃加茂市では中部台地（中部台・蜂屋台）で制度を導入している。
中心市街地	商業、業務、居住等の都市機能が集積し、長い歴史の中で文化、伝統をはぐくみ、各種機能を培ってきた「まちの顔」とも言うべき地域。太田地区と古井地区が中心市街地を形成している。
低炭素まちづくり	二酸化炭素の排出が少ない社会のこと
低未利用地	適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間にわたり利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称

用 語	内 容
特定用途制限地域	用途地域が定められていない土地の区域において、その良好な環境の形成又は保持のため当該地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途を定めた地域
都市機能	都市での様々な活動を支える機能のこと。商業、広域行政サービス、産業、アミューズメント、子育て、教育文化、医療福祉など
都市基盤	都市の活動を支える最も基本となるもの。道路、鉄道、学校、病院、公園、河川、上下水道、エネルギー供給施設、通信施設等の生活・産業基盤など指す
都市計画	都市計画区域において都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画
都市計画区域	都市計画法で定められた都市として整備・開発又は保全する必要がある地域
都市計画道路	都市計画法に基づき都市計画決定され、位置や幅員等が決定された道路のこと
都市構造	都市の基本的な骨格、地域の構造のこと
都市のスポンジ化	都市の内部で空地や空家がランダムに数多く発生し、スポンジのように都市の密度が低下すること。スポンジ化の進展は、地域コミュニティ存続危機、行政サービス非効率化等、都市の衰退につながるといわれる。

■ な行

用 語	内 容
南海トラフ巨大地震	南海トラフ沿いの広い震源域で連動して発生するとされているM(マグニチュード)9クラスの巨大地震

■ は行

用 語	内 容
バリアフリー	段差の解消、スロープや手すりの設置、建物出入り口の自動ドア化など、高齢者や障がい者が社会生活上障害となっている、不便と感じる物(バリア)を取り除くこと
ポケットパーク	主に道路整備や交差点の改良によって生まれたスペースを利用し、ベンチ等を設置した小規模な公園
ホスピタリティ	お互いを思いやり、手厚くもてなすこと

■ ま行

用 語	内 容
まちづくり協議会	市と協働して持続可能なまちづくりの推進を図るために置かれる協議会。山之上・加茂野・伊深・三和・下米田の5地区で設立されており、まちづくり活動が進められている。
モビリティ・マネジメント	一人ひとりの行動や意識の問題を考えながら、交通政策を考えていくこと



■ や行

用 語	内 容
ユニバーサルデザイン	障がい者や高齢者等を区別して考えるのではなく、誰にでも使いやすい空間をつくっていかうとするバリアフリーから一歩進んだ考え方
用途地域	都市計画法に基づく地域地区の一種で、目指すべき市街地像に応じて、住宅や商業などの用途別に分類される13種類の都市計画の総称

■ わ行

用 語	内 容
ワークショップ	地域に関わる多様な人々が参加し、各種の共同作業を通じて計画づくりやコミュニティの諸課題の解決策を考察していく方法
ワーク・ライフ・バランス	働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと